



▲毎年恒例となった茶摘みの風景。今年も美味しいお茶ができました。

## 高泊小学校 茶摘み

春の陽気に包まれた5月7日、今年も高泊小学校で茶摘みが行われました。茶畑では、法被はっぴとかすりの衣装を身にまとった6年生が、初めて茶摘みを体験する1年生に優しく教えてあげる場面も見られました。自分たちの手で摘み取ったお茶。きっと、何よりも美味しい一杯になることでしょうね。



▲金本さん（中央）はうれしい初優勝、是木さん（右）は貫録の6大会連続優勝です。

## 優勝おめでとうございます

5月12日、山口県維新百年記念公園陸上競技場で第40回山口県アイリニック大会が開催されました。本市みつば園みつばのこの是木末彦さんとみつば園みつばのこの金本清美さんが、ロードレース競技において男子の部・女子の部でそれぞれ優勝の栄誉に輝き、うれしい報告となりました。次の大会も、優勝の報告を期待して待っていますよ！

夢  
いっぱい!

## 菜の花の小さな花びらに 託した大きな想い



「菜の花プロジェクト」を推進する障がい者支援 NPO 法人芙蓉会代表

すえなが ひろし  
末永 浩 さん

小野田駅東の不二輸送機工業(株)の裏手に広がる、約1ヘクタールの菜の花畑は、昨年、市内の障がい者支援 NPO 法人芙蓉会の呼びかけによりスタートした、「菜の花プロジェクト」活動の賜物です。障がい者とボランティアの人達で蒔いた種は、冬の寒さにも負けることなく、たくさんの可愛らしい花を咲かせました。

「菜の花プロジェクト」とは、この菜の花から菜種油を精製・販売し、障がい者の自立を支援しようという試みで、使用済の廃油は回収し、ディーゼルエンジン用の燃料として再利用する予定です。「障がいを持つ人が、労働を通じて賃金を得るだけでなく、社会にも貢献できること。それが真の自立への第一歩だと思うんです。」と話す芙蓉会代表の末永さんは、自身も畑に立ち、菜の花の育成に尽力されました。障がいを持っていても、適材適所を心がけることで、その人の能力が必ず発揮できるはずとの考えのもと、油を入れるビンやラベルのデザインにいたるまで、製品完成までの全工程を障がい者と共に行っています。「畑の土地も不二輸送機さんから無償で貸していただいております。」との言葉どおり、資金面でもぎりぎりの中、6月下旬～7月初旬に完成予定の製品をどこで販売するのか等、早急に解決すべき問題もありますが、「将来的には、市内の休耕田を菜の花畑に変えて、菜種油を市の名産品にしていけたらいいですね。」と、笑顔で夢を語ってくれました。

末永さんが蒔いた「菜の花プロジェクト」という名の種も、実際の菜の花に負けないくらい素敵な花を咲かせてくれそうです。



▲松井製陶所内に設置された製油装置と菜種